

# 能力引き出す「コーチング」

人が本来持っている能力を引き出す「コーチング」を子育てに生かそう。盛岡市内で今月上旬開かれた子育てフォーラムで、講師を務めたパーソナルコーチ平野順子さんが、盛岡市在住が、子育てに応用できるコーチングの考え方について講演した。

同フォーラムは、盛岡市母親クラブ連絡協議会(鎌田正子会長)の主催。会場の同市盛岡駅西通のいわて県民情報交流センター(アイーナ)で約60人の参加者が学んだ。平野さんは岩手大

平野さん(盛岡在住)が子育て講演

## 「見守る」スタンスで

### 母親クラブ連絡協議会



講師 平野 順子

コーチングについて考え方を伝える平野順子さん

うな知識や経験、技術 ころを日常的に言葉に与える「ティーチング」して伝える▽事実を認「グ」と異なり、もともとめて受け止めるの4と内側に持っている資点を挙げた。

質や能力、自発性などを引き出すことであるは、子どもと接するときにはわざとらしく褒めと説明した。

コーチングの前提となる考え方について▽「見守るサポートする側が無制限することが必要だと話し可能性を信じる▽答た。

えはその人自身の中にあるの2点を紹介。平野さんは進学や就職を控えた高校生、大「スキルを使って話を聞いても信じなければ駄目。(サポートする側が)無理だと思ったら何も始まらない。いい、「家庭の中で自分の物差しで物事を面コミュニケーションを増やすことで将来的測るのは違う」と語った。

日常のコミュニケーションで心掛けてほしいことは▽相手の話を遮らずに聞く▽相手の顔をみて聞く▽良いと

母親たちに混じって参加。「子育て支援について卒業研究をしている。大学で学ぶことは、コーチングが主だけれど、コーチングの重要性も広まっていい」と関心を深めた。